



1975年4月号：題号が「月刊出光」に



1975年12月号：愛知製油所 竣工



1997年1月号：出光大分地熱 営業運転開始



2006年11月号：東証一証上場



2011年6月号：創業100周年



1984年4月号：出光美術館の所蔵品



1984年12月号：阿賀沖北油田 生産開始



1991年5月号：第1回出光音楽賞



2014年3月発行：震災特集増刊号



2015年9月号：昭和シェル石油と統合合意



2018年7月号：有機EL技術 恩賜発明賞



1992年12月号：米西に潤滑油工場 竣工



1993年12月号：「ゼアス」発売



1994年12月号：エンシャム鉱山 開山



2019年1月号：ニソン製油所 商業運転開始

「月刊出光」2019年3月号「通巻795号」
出光興産株式会社

表紙で振り返る
『月刊出光』

題号が改まった1975年以降



ISSN 0285-5039

販売店の皆さん

「新グループ報には、販売店・特約店が共感できる内容を期待しています」



(株)サンワ
遠藤 祐司 会長
(関東第二支店)

- ①店主の言葉と出光の現在の動きを、同時に知ることができました。
- ②「眼光紙背」は、出光理念を通じて自らを省みる機会となりました。
- ③「販売店と共に、一丸となって進む」出光らしく、現場発の声が多く掲載されることを期待します。



東和興産(株)
林 彰 社長
(関東第一支店)

- ①出光興産の販売店として繋がる仲間たちの「今」を知ることができました。
- ②8月号掲載の「全優店表彰企画」に名を連ねることが、わが社の目標でした。
- ③新たな仲間との「絆」を深めることのできる新グループ報を期待しています。



清家石油(株)
清家 壽人 社長
(全国出光会会長、九州支店)

- ①出光グループと販売店の、さまざまな活動や取り組みを知ることができました。
- ②毎月、「眼光紙背」で出光在三店上の考えを再確認していました。
- ③販売店・特約店が共感できる内容を期待しています。



森石油(株)
森 英三郎 社長
(関西支店)

- ①日知の皆さまのご活躍を知ることが、自らの原動力になっていました。
- ②「眼光紙背」。佐三店主の思いにふれることで、自問自答する機会を得ていました。
- ③新グループ報には「出光社内外における理念継承」を担う役割を期待しております。



松原鉱油(株)
松原 広幸 社長
(中部支店)

- ①国内外のさまざまな取り組みを、毎号楽しみに読んでいました。
- ②「店主の言葉シリーズ」とその付記に、出光理念を継承する意思を汲み取ってきました。
- ③新グループ報が出光理念継承を担う役割は大きく、今後ますます重要です。



(株)太陽商会
青木 俊康 社長
(北海道支店)

- ①佐三店主の言葉が掲載されているのを、店上が直接語りかけてくれる感覚で読んでいました。
- ②「支店のある街」で紹介される、地域ならではの事情と共感が楽しかったです。
- ③出光昭和シェルになればこそ、店主の言葉を新しい仲間にも届けてほしいです。



佐多石油(株)
佐多 修一 社長
(九州支店)

- ①各地で活躍される販売店の皆さまの記事を見るのが、励みとなりました。
- ②「眼光紙背」を読むと、いつも商売の根本を思い起こさせられました。
- ③お客さまにおすす支持・期待される施策の紹介を楽しみにしています。



若山石油(株)
藤井 秀尚 社長
(中国四支店)

- ①担当してくれた出光社員の活躍の記事で見るとうれしくなりました。
- ②販売店の好事例が紹介された記事を読み、自分たちの励みにしていました。
- ③このグループの相互理解が深まるような特集を期待しています。



(株)山二
西村 紀一郎 会長
(東北支店)

- ①出光各部署の取り組み事例は、貴重な業界情報として参考としています。
- ②「眼光紙背」は、初心に立ち返る意味でいつも精読していました。
- ③販売店・特約店間の一体化に繋がる事例・活動の紹介を期待します。

44年間親しまれてきた『月刊出光』が最終号

愛読者の皆さんが語る本誌の魅力と新グループ報への期待

4月から新たなグループ報が生まれます。そこで「月刊出光」として最終号となる本誌では、これまで「愛読いただいた全国の販売店、光友会会員、社外読者の皆さま方から寄せられた、メッセージをご紹介いたします。」

（※本誌は本誌の「好きなところ」を採り上げた企画）（新グループ報への期待）